

● 4～5日、ギンブ国会議長・大統領代行のストラスブル訪問

A．主な動き

1．内政

▼憲法改正

・4日、憲法裁判所は、A EIの作成した大統領を国民投票で選出するための憲法78条改正案を承認。今後政府公報への掲載後、6か月の審議期間を経て議会で採択される予定。

・5日、ギンブ大統領代行他の代表団は、ヴェニス委員会及び欧州評議会に対し、憲法裁判所で承認された2パターンの憲法78条改正案を提示。プキッキオ・ヴェニス委員会委員長は、モルドバに対し現行の憲法を遵守し、議会を解散・総選挙を実施するよう推奨（詳細は外政）。

・6日、プキッキオ・ヴェニス委員会委員長は、A EIは現在の憲法危機を克服するため他の政治勢力と合意しなくてはならず、またモルドバ議会は憲法78条を改訂した後、2010年中に解散する必要があるとコメント。また憲法改正案に関し、両案とも是認できると発言。

▼暴動調査委員会

・4日、2009年4月7日の暴動に関する臨時調査委員会は、委員会として統一見解に至らなかったとして、2通りの報告書を作成。

・7日、委員会は、ヴォローニン前大統領が暴動時に警察及び検察に直接指示を与えた行為は、権限を逸脱するものだったとの結論を発表。

▼その他

・3日、シルブ共産党弁護士は、ギンブ大統領代行による会議出席禁止を不服として、議会を裁判所に提訴。

・3日、モルドバの複数のメディアは、政権交代以降報道の自由をめぐる状況が改善しているとのレポートを発表。

・7日、モルドバ国会で、無所属議員の議会会派結成を容認する法案が第一読会を通過。現行の規則では、会派結成は5名以上の議員が参加し、議会招集から10日以内に届け出る必要がある。

2．沿ドニエストル

・4日、米国を訪問中のオシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、国務省、国防省、国家安全保障会議及び副大統領府で会談。沿ドニエストル紛争に関する協議を実施。「5+2」者会合の今年中の再開の重要性を強調。

・5日、ギンブ大統領代行は、沿ドニエストル問題を解決するためには、ロシア軍を沿ドニエストルから引き上げ、スミルノフ沿ドニエストル「大統領」への支援を絶ち、ロシアが沿ドニ

エストル軍に供与した武器を取り上げる必要があると発言。

・5日、沿ドニエストル当局に拘束されているヴァルダニヤン記者はインターネットに記事を発表。スパイ行為と国家反逆の自白を強要されていると述べ、自身の家族への支援を訴え。

3．経済

▼農業

・5日、コサルチウク農業食品産業大臣は、動物起源製品規制に関して、EUミッションが5月31日から6月4日までモルドバを訪問すると発表。

・6日、国家統計局は、2010年1月-3月期の農業製品価格が対前年同期比で20.6%上昇したと発表。製品別では、野菜製品が45.2%上昇、動物製品が3.5%上昇。

▼その他

・1日、第1四半期の平均給与は前年同期比7.8%増の2740レイと国家統計局が発表。

・7日、エネルギー規制庁は第1四半期のガソリン販売量が前年同期比39.1%減と発表。なお、ディーゼル燃料については15.8%減。

・7日、中央銀行は2010年度第1四半期のモルドバへの海外送金額が前年同期比771万ドル増の2億3345万ドルと発表。なお、1月及び2月には送金額に増加は見られなかったが、3月には前年同月比30%の増加。

4．外政

▼4～5日、ギンブ大統領代行(国会議長)のストラスブル訪問

・5日、ギンブ大統領代行を団長とするモルドバ代表団は、ストラスブルを訪問。ギンブ大統領代行は、ヤークラン欧州評議会議員会議事務総長と会談し、モルドバの政治危機克服へ向けたメカニズムを創設する必要性を強調し、さらにA EI及び共産党が受け入れ可能な解決策を決定することが必要であるとの見方を表明。モルドバ代表団は、プキッキオ・ヴェニス委員会委員長、ハマーベルグ欧州評議会人権コミッショナーらと会談し、モルドバ憲法第78条改正の問題、モルドバ人ジャーナリスト逮捕の問題等について協議。

▼7日、ライチャーク・スロバキア外相の来訪

・7日、フィラト首相と会談。ライチャーク外相は、モルドバが財政・技術支援先としてスロバキアの優先課題であり、スロバキアはEU査証制度自由化のためにモルドバを後援していると前置きし、キシナウに在外公館設置の意向を表明。フ

イト首相は、スロバキアのEU加盟の経験がモルドバにとって有益であり、モルドバ政府が進める諸改革に対するスロバキアの支援に感謝の意を表明。両者はモルドバ・スロバキア政府間協力発展協定に署名。

・7日、レアンカ副首相兼外務欧州統合相とライチャーク外相は、モルドバ欧州統合支援声明に署名。

▼その他

・4日、ゲルマン外務欧州統合省次官はブラッセルを訪問し、モルドバの国内情勢、EU・モルドバ関係及び沿ドニエストル問題解決等につきEU側と協議。EU側は、モルドバ政府によるヴェニス委員会勧告受け入れ及び連合協定協議の進展状況を肯定的に評価し、FTA協議の開催に向け6月にEU代表団をキシナウへ派遣の用意があることを表明。

・5日、ギンブ国会議長は、8日モスクワで開催されるCISサミットに参加するが、翌9日の赤の広場での軍事パレードに

は参加せず、モルドバ国内での記念行事に出席する予定と発言。

・5日、モルドバ政府は、ラザル副首相兼経済相をCISにおけるナショナル・コーディネーターに任命。

・6日、レアンカ副首相兼外務欧州統合相は、具体的な氏名は明らかにしなかったものの14名のモルドバ大使の人選が終了し、アグレマンを要請中と発表。

5 . 防衛

▼モスクワにおける戦勝記念日パレード

・5日、ヴォローニン共産党党首(前大統領)は、戦勝記念日パレードに関するギンブ大統領代行の一連の発言はロシアとモルドバの関係を悪化させると発言。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)